

高く・強く・楽しく



柏崎体育

第177号

Kashiwazaki City Sports Association

(一財)柏崎市スポーツ協会広報誌

2020年1月17日発行

編集●(一財)柏崎市スポーツ協会広報部

印刷●柏崎インサツ

《輝け 2020 期待の新年の幕開け》



祝 東京2020オリンピック出場決定!!

東京オリンピックに向けて

セーリング 富澤 慎

9月にイタリア・トルボレにて行われたRS:X級 世界選手権で、日本セーリング連盟が定める東京オリンピック代表選考条件をクリアし、オリンピック代表内定が決まりました。

柏崎市の皆様には日ごろから応援いただきありがとうございます。

オリンピックは4回目の出場となりますが、私自身今回の東京オリンピックが集大成と思っています。過

去3回大会では世界に追いついていなかったと思います。リオ・オリンピック後、フルタイムで選手活動に専念することができ、また、同種目のメダリストがコーチに付いたことで、より世界と対等のレースができるようになりました。ウィンドサーフィンがロス・オリンピックで初正式種目となった1984年に生まれました。私の年齢とウィンドサーフィン・オリンピックの歴史は同い年です。柏崎工業1年生で世界大会に出場してから、来年の東京で20年。その間に大



きなケガや故障もなく、競技を続ける環境とその運もつかむことができました。応援、協力いただいた皆様のおかげで、自身がオリンピック競技に対し純粋に努力でき、続けて行けることを感謝いたします。最後に、東京オリンピックは自分がいつも練習している鎌倉と、江の島で行われる予定です。競技に勝つためにより一層の努力をいたします。応援よろしくお願いします。



全国の舞台で大躍進!

水球日本選手権を終えて

ブルボンウォーターポロクラブ柏崎 林 和希

昨年は六年振りに日本選手権で優勝し、今年はチーム創設初の二連覇を目指して、大会に臨みました。

決勝まで順調に勝ち上がりましたが、Kingfisher74との決勝戦で、四点差で敗れ、準優勝という結果に終わりました。

ブルボンKZはディフェンスが持ち味です。しかし、決勝戦では得意のディフェンスでミスを重ねてしまい、相手のカウンターで失点するシーンが多くありました。

今年の反省からチームとして一から鍛え直し、来年の日本選手権ではさらに強いブルボンKZを皆様にお見せしたいと思っております。

今後ともご声援の程、宜しくお願い致します。



水球日本選手権を終えて

ブルボンウォーターポロクラブ柏崎 梅村 香穂

今年は日本選手権初優勝を目指して、大会に臨みました。しかし、準決勝で敗れ、優勝のための一歩である決勝へ進むことができませんでした。

三位決定戦では、メダル獲得を目指して東京女子体育大学と戦いました。声を掛け合い戦術どおりの試合をすることができましたが、ミスで失点を重ねてしまい、二点差で敗れ、二年連続四位という結果に終わりました。

来年の日本選手権に向け、チームとしても個人としても、たくさんの課題が見つかったので、一から鍛え直し、悲願の初優勝を目指して頑張ります。今後ともご声援の程、宜しくお願い致します。



いきいき茨城ゆめ国体2019

第74回国民体育大会

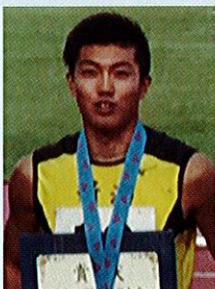
翔べ 羽ばたけ そして未来へ



第74回国民体育大会 110mH 2位

新潟産業大学附属高等学校 2年 近藤 翠月

茨城国体に新潟県代表として初めて出場しました。大会約1ヶ月前から合宿が始まり、先生方とコミュニケーションをとり、試行錯誤しながら練習に取り組みました。その1ヶ月は本当にあっという間でした。迎えた大会当日、天候は雨。この条件を気にせず、自分のレースに集中しました。無事決勝へ駒を進めることができましたが、結果は2位。ここまで沢山の方々から応援していただいただけに「優勝」で恩返しができず、悔しい思いがとて強く残りました。私はまだ2年生なので、来年色々な方々に「優勝」の報告ができるようこの柏崎の地で努力し続けたいと思います。



第74回国民体育大会 400m自由形 8位

柏崎翔洋中等教育学校 5年 竹田 彩乃

十月に行われた茨城国体に新潟県代表として出場させていただきました。目標の一つであった決勝に進むことはできませんでしたが自己ベストよりも遅く、悔しさが残る大会になりました。茨城国体は私にとって初めての国体で不安や緊張がありました。コーチや仲間のおかげで、落ち着いてレースに臨むことができました。この国体を通して、コーチをはじめ支えてくださる方々や応援してくれる家族、仲間のおかげで競技を続けられていると改めて実感しました。今後も周りの人への感謝の気持ちや大会での悔しさを忘れず、目標に向かって頑張ります。



加盟団体のPRコーナー



新潟県駅伝競走大会に魅せられて

柏崎陸協男子駅伝部監督 柳 勝司

秋の越後路の風物詩、地元の代表となった誇りと仲間への思いを込め一本のタスキをつなぐ県駅伝。72回を数える歴史ある大会で過去に優勝経験もあり、常に入賞を目標に活動しています。この駅伝からその後箱根駅伝の選手となった地元ランナーが数多くいます。

駅伝には、人に頼れない個人競技とタスキをつなぐチーム競技の両面があり、この魅力に取りつかれた駅伝好き達は、週2回水曜と土曜の練習会に中学生や高校生と社会人が一緒になって楽しく苦しい練習を重ねています。

そのあなた、一緒に走りませんか？



柏崎刈羽ゴルフ協会

柏崎刈羽ゴルフ協会では、年4回の大会（春季大会・秋季大会・シニア&レディース大会・東村山市ゴルフ連盟との交流大会）を中心にゴルフ愛好者の親睦・技術向上を目指し活動しています。

各大会は、柏崎のゴルフ場（石地SCC並びに柏崎CC）に協力をお願いして、新潟産業大学附属高等学校ゴルフ部の支援を兼ね、協会のゴルフ愛好者を中心に開催しています。

中でも東村山市との交流ゴルフ大会は、令和元年20回の記念大会として、群馬県の赤城ゴルフ倶楽部を会場に盛大に開催しました。当初はお互いに東村山・柏崎と会場を変えて開催していましたが、4年目から中間の群馬県で開催し、幹事を交互に受け持ち開催することしました。

2019年の国体に、新潟県代表として新潟産業大学附属高等学校ゴルフ部卒業生で、石地SCC所属の「戸松 仁」「近藤 あみ」の2名が選手として参加しました。

また、2019年は女子プロの活躍で再び“ゴルフブーム”となり、今年も若者や女性が増えるのではないかと考えております。

当協会も、ジュニアの育成をはじめ「若者や女性」が新しく入っただけのような大会を取り入れて、会員の親睦・体力増強・地域に貢献をモットーに活動して参りたいと思っております。



柏崎刈羽小学校体育連盟

事務局 大宗 竜功

柏崎刈羽小学校体育連盟は、市内の小学生の体力向上を目的とし、主に7月の親善水泳大会と、9月の親善陸上大会を開催しています。親善大会には、柏崎市と刈羽村の5・6年生全員（約1,400名）が参加します。柏崎市・刈羽村の合同開催になってから、今年度で15回を数えます。

今年度の水泳大会は、7月29・30・31日の3日間の日程でアクアパークを会場に行われました。どの選手も自己ベスト更新に向けて一生懸命に泳ぎました。自校の選手が出場しないレースでも「頑張れ柏刈、負けるな柏刈」と、他校の選手を温かく応援する姿にも感動しました。来年度の大会からは、種目を精選し自由形と平泳ぎのみで実施します。

陸上大会は9月19日に陸上競技場で行われました。午前が選手種目、午後から選択種目に分かれて競技が行われます。特に4×100mリレーでは各校の応援も熱を帯び、会場が一体になって盛り上がりがあります。

今後も柏崎刈羽の子ども達の頑張りに、ご声援をよろしくお願いいたします。



「古くて新しい」諸課題に挑む柏刈中体連

柏崎刈羽中学校体育連盟 会長 上野 忠英

柏刈中体連40周年誌によると、当中体連は昭和30年に正式発足している。その周年誌には「中体連は勝利主義にのみ走ることなく、あくまで学校体育の健全な普及発達（エスカレートする大会に対する中学校教育の本道を守る）を図るものである」と発足当時の中体連精神が記されている。奇しくも今、部活動の在り方が問われている。この精神からも分かるように、部活動の問題は「古くて新しい」課題である。各学校はガイドラインに則った活動に、中体連は大会運営を大きく変更する改革に取り組んでいる。これからの柏刈中体連は、その条件の中で生徒たちが最大限の力を発揮できるよう支援するとともに、部活動の本道を見失わないよう地道に活動していきたい。

各種スポーツの連盟・協会の皆様のご支援に心から感謝申し上げます、さらにこれからの中体連活動へのご理解とご協力をお願いいたします。



新潟産業大学

本学には強化指定部が6部あり、本格的に競技に取り組みたい学生が全国から大勢集まっています。

水球のまち柏崎を代表する水球部は全国大会で準優勝したこともある強豪で、日本代表選手3名が所属し、オリンピックでの活躍が期待されています。

ライフセービング部も世界大会出場者が所属した名門で、海水浴場の監視活動も重要な活動です。

卓球部と空手道部は北信越大会で優勝等常に上位入賞し、全国大会出場者が多い強豪クラブです。

サッカー部とバスケットボール部は北信越リーグに所属し、上位進出を目標に頑張っています。

これらの部は大会出場のみでなく、地域の子どもの指導等にも積極的に取り組んでいます。



柏崎ライフセービングクラブ

理事 今井 俊介

柏崎ライフセービングクラブは、新潟産業大学の学生と社会人を中心に約60名のクラブ員で活動しています。また、ライフセービングの次世代を担う若手の育成のため、年間を通じてジュニアプログラムを開催しており、小学生から高校生まで22名が参加しています。幼い頃から、海と親しむことで自らの命を守る方法を学び、自然と触れ合うことで環境問題や郷土愛を育む大切さを感じてもらおうとともに、命の大切さや人を助けることの難しさを学んでいます。

ライフセービング活動には、救助活動と競技会があります。柏崎の海水浴場の発祥は、日本海側では最も早い1888年（明治21年）5月とされています。柏崎ライフセービングクラブは1996年の設立以来、この130年の歴史のある柏崎の海を安全で楽しく過ごしていただけるように海水浴場に訪れる人たちの命を守り事故を未然に防ぐため活動しています。監視活動は市内9箇所あり、米山、笠島、薬師堂、鯨波、東の輪、番神、中央、椎谷、石地海水浴場の約42kmで資格を取得したライフセーバーが常駐しています。

競技会は、人命救助に必要なスキルを競いあう目的をもち、昨年の全日本選手権大会において当クラブは総合成績8位になり、個人ではビーチフラッグスやボードレースでは準優勝と全国の中でも好成績を収めています。またクラブ発足から、日本代表メンバーも多く輩出してあります。

ライフセービングはスポーツでもありながら、『人の命を守る』、人命救助であります。これからも地域に根差し、信頼されるクラブになるように活動をしていきます。



1 市民武道大会について

○例年実施していた市民武道大会は、令和2年度は実施しません。令和2年度は、柔道連盟・剣道連盟・弓道連盟・空手道連盟が主催となり、実施していきます。

2 ジュニア期の指導者研修会について

○昨年の5月と6月に実施したジュニア期の指導者研修会の後期研修会を次のとおり実施しますので、たくさんのお参加をお待ちしております。なお、参加希望者は、必ずスポーツ協会事務局に申し込んで下さい。

【具体的なテーマ（仮称）の日程及び講師名（敬称略）】

- ①ジュニア期の栄養について 3月16日(月) 18:30～20:30 会場：文化会館アルフォーレ
講師：管理栄養士 公認スポーツ栄養士 長谷川 直子
- ②ジュニア育成の一般指導 3月28日(土) 18:30～20:30 会場：総体会議室
講師：WaKa スポーツコンサルティング(株) 代表取締役 若杉 透
- ③けがの予防について 3月30日(月) 18:30～20:30 会場：総体会議室
講師：JA上越厚生病院 理学療法士 高橋 利一
- ④ジュニア期の心の発達 3月23日(月) 18:30～20:30 会場：文化会館アルフォーレ
講師：新潟医療福祉大学 健康科学部健康スポーツ学科 助教 中島 郁子

事務局
だより

〒945-0061 新潟県柏崎市栄町18-11 柏崎市武道館内

一般財団法人 柏崎市スポーツ協会 広報部

TEL 0257(22)5597 FAX 0257(41)4001

e-mail: info@kashiwazaki-sports.jp URL http://www.kashiwazaki-sports.jp